

水と空



沼津地区環境保全協議会

第 135 号

発 行

沼津地区環境保全協議会

沼津市御幸町14-5

沼津商工会議所

編 集

同会 広報部会

ひとこと

牛臥山公園の海浜植物保全活動

特定非営利活動法人 沼津まちづくり市民の会海風 4 7

市川 保 …1

事業所訪問シリーズ 181

「エコライフスクエア三島きよずみ」見学会に参加して

株式会社リコー沼津事業所 白井 清貴 …3

沼津市環境政策課だより

…6

会の動き

…7

環境保全 小さな努力の

積み重ね

牛臥山公園の海浜植物保全活動

特定非営利活動法人 沼津まちづくり市民の会海風47 事務局長 市川 保

平成20年4月に開園した「牛臥山公園」は、臨海の公園として適度な広さと変化に富んだ環境で安らぎと憩いの場として、沼津市民はもとより、近隣の市町からも多くの来園者がある。

公園の一番奥に、通称「我入道小浜」という150mほどの海岸と旧大山邸別荘跡地があるが、この区域一体の環境保全活動を私たちのNPO法人が継続的に実施している。

もともと小浜海岸は私有地の奥にあり、公園開園までは地元の人でさえあまり足を踏み入れたことが無く、数少ない海浜植物が、ほぼ自然のまま残っている区域である。しかし永年、人の手が入っていなかったため、砂浜や石垣周辺には漂着ごみなどが堆積し、散乱したプラスチックごみなどがあたり一面を覆い、白色の発泡スチロールの隙間から植物が芽を出しているような状況だった。ゴミと砂が幾重にも重なった大量のゴミは、高校生のボランティア活動の助けを借り、四年がかりでなんとかきれいにする事ができた。

公園整備工事により、海浜植物が失われる可能性があったため、移植（ハマユウ：百株、スカシユリ：百株、ハマカンゾウ：三百株など）や保護活動をしていたが、工事計画の見直しなどにより、海岸付近はほぼ現状のまま残ることとなった。移植した植物は公園整備工事に合わせ海岸に戻してもよかったが、ハマユウやハマカンゾウなどは公園の緑化植物として活用するため再移植し、開花時には入園者の目を楽しませている。

あくまでも公園内の植物保全活動であるため、自然のままの伸び放題とはいかず、入園者に不快な感じを受けない程度の手入れをする必要があり、外来植物の駆除や海浜植物の保護をほぼ毎週実施し、三年間で百回を超えた。

入園者に海浜植物を知ってもらうため、よく見かける十種程度の植物について植生看板を十数基製作して、群落の場所や見やすい場所に設置した。

植物は環境変化に敏感であり、棲み分けや共生など、自然の微妙なバランスに教わることが多い。また、在来種と外来種との繁殖力の違い、観賞用植物の野生化や交雑、気候変動による開花や結実時期の変化など、植物学の知識をそそる場でもある。

旧大山邸別荘跡地の海側には、伊豆石で築かれた石垣が、百二十年余の歳月を刻んで残されている。海に降りる階段付近は、お城の石垣を思わせる組み方で、当時の石工の心意気を感じることができる。（今は木製のデッキから、間近に見ることができます。）



旧大山邸別荘跡地の石垣(木製デッキの左右)



事業所訪問シリーズ

「エコライフスクエア三島きよずみ」見学会に参加して

株式会社リコー沼津事業所 白井 清貴

2011年2月25日(金)、沼津地区環境保全協議会広報部一行7名は、「エコライフスクエア三島きよずみ」見学会に参加させて頂きました。

この「エコライフスクエア三島きよずみ」は、静岡ガス株が会社創立100周年事業の一環として、低炭素社会の実現に向けた取り組みとなる低炭素型タウン(分譲地22戸)を、三島市清住町の旧静岡ガス三島支店跡地に住宅メーカー8社により建設したもので、各戸に家庭用燃料電池「エネファーム」、太陽電池を併設し、さらに一部の住宅に蓄電池を導入したもので2月23日には現地にて、戸野谷宏静岡ガス株社長、豊岡武士三島市長ら関係者により完成式典が行われました。

当日、三島駅北口で待ち合わせた一行は、用意されたバスにて現地に向かいました。車中で関係者より、本日の見学会は大きく2つのコースになっており、初めに「サントムーン柿田川シネマ棟」にある「静岡ガスのショールーム」での概略説明、続いて清住町にある現地での見学会で、所要時間は約2時間の見学コースとなっているとの説明を受けました。昨日もこの見学会は実施されたそうですが、あいにくの雨で当初予定した見学ができなかったそうです。本日は全てお見せできるとのことでした。見学者には静岡県外の方も参加されているようで、三島市の歴史や三島市周辺のガイド等も紹介がありました。10分程経過し、ショールーム「静岡ガスエネリアショールーム柿田川」に到着しました。

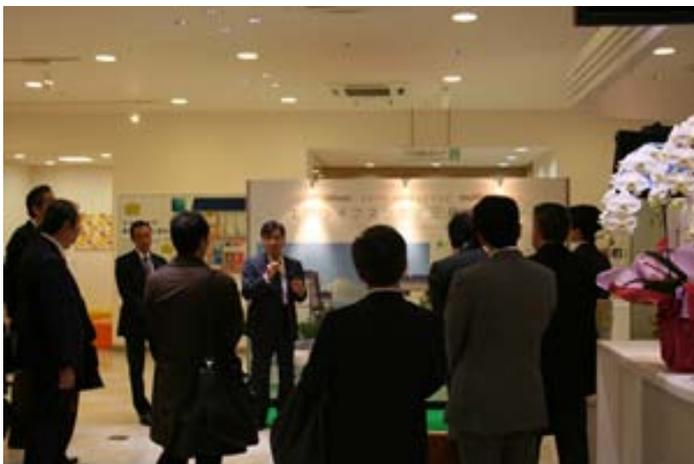


【静岡ガス エネリアショールーム柿田川にて】

静岡ガス(株)役員様より冒頭の挨拶後、「エコライフスクエア三島きよすみ」についてのコンセプト、エネルギーマネジメントサービス等について静岡ガス(株)及びパナソニック電工(株)関係者より説明がありました。

〈1.コンセプト〉

まずは静岡ガス(株)より、三島市が掲げる環境先進都市計画の実現に向けた『エネルギー事業者』、『住宅メーカー』、『設備メーカー』の3者による低炭素社会に向けたハードとソフトの提案について説明がありました。ハードでは『住宅メーカー』による高気密・高断熱の次世代基準をクリアした省エネ住宅の提案、『設備メーカー』では燃料電池、太陽光発電、蓄電池、温水暖房装置などの電力、熱供給システムの提案、ソフトでは『エネルギー事業者』による省エネ設備の運転管理、削減CO₂の購入、省エネ生活へのアドバイス等、3者のコラボレーションによる持続可能な低炭素型街区の形成を図ることをコンセプトとしているとのことでした。



<2.エネルギーマネジメントサービス>

次に全戸に導入した「ECOマネシステム」による住宅内のエネルギーの「見える化」についてパナソニック電工(株)よりデモ機を使った説明がありました。「ECOマネシステム」では、太陽光発電及び家庭用燃料電池による発電量や売電量、又、各機器、各コンセントの消費電力が一目でわかる省エネモニターが取り付けられており、モニターから得られた情報より各居住者がエネルギーの効率的な使い方を実感することができ、省エネに対する工夫、努力することで大きな成果が得られる仕組みとなっているとのことでした。続いて静岡ガス(株)より各家庭で得られたCO2 排出削減量は、温暖化ガスの国内排出量取引制度を利用し、静岡ガス(株)が買取り、県内の企業にクレジットするエネルギーの地産地消をめざした国内初の取り組みとのことでした。

説明終了後、休憩コーナーにて静岡ガス(株)女性従業員により用意されたお茶とお団子を美味しくいただきました。その後、バスで5分程先にある「エコライフスクエア三島きよずみ」に向かいました。



【エコライフスクエア三島きよずみにて】

現地に到着後、地下に埋設された電線、電話回線、ケーブル線が収納された共同溝について、続いて22戸のうち1戸に設置された蓄電池について説明を受けました。蓄電池は海外製で既に電気自動車に搭載されており、寿命は現在では8年程とのことでした。

住宅メーカーが旭化成ホームズ、住友林業、積水ハウス、パナホーム、ミサワホーム、三井ホーム、田中建築工業、吉川建設と8社が建設しており住宅構造、デザイン等それぞれに特徴があり、これから住宅購入を考えている方には大変参考になると思いました。

静岡ガス(株)では、今後も低炭素社会に向け都市ガスと電気との融合を図り、家庭の総合的なエネルギー効率の改善に取り組み、静岡県内に第2、第3のエコタウンを建設する計画だそうです。

最後に今回の見学会参加にご尽力頂いた静岡ガス(株)様、事務局の沼津商工会議所様には厚く御礼申し上げます。

「エコのまち沼津」の推進と「ぬまづエコ活動コンテスト」の開催

沼津市では、低炭素で循環型の社会を目指し、家庭や地域、職場など、身近なところから「エコ活動」に取り組んでいただく「エコのまち沼津」のまちづくりを進めています。

1 「ぬまづエコ活動コンテスト」の開催

「エコのまち沼津」を発信するための一歩として、平成 23 年 2 月 6 日に沼津市民文化センターの小ホールを会場に「ぬまづエコ活動コンテスト」を開催しました。

これは、市内でエコ活動に取り組むグループや団体が、日頃の活動をステージで発表し、優れた活動を表彰するというイベントで、今回は第 1 回目となります。また、コンテストで発表されないエコ活動や省エネ対策などを展示で紹介する「エコ展」と、「人と環境が共生するまちを目指して」をテーマとする「エコシンポジウム」も同時に開催いたしました。

コンテストに参加したチームは、自治会の皆さんをはじめ、職場や学校の仲間、地域のグループなどで、それぞれ知

恵を出し合い、力を合わせて、温暖化対策や環境保全、自然保護など、さまざまな分野において特色ある活動に取り組んでいました。

2 コンテストの目的

このコンテストの目的は、市民の皆さんが自発的に行っているエコ活動を広くご紹介し、これまであまり興味のなかった方々にも身近な環境について考え、行動していただくこと、また、すでにエコ活動を実践している皆さんには、活動の輪を広げていただくための情報発信と考えています。



コンテストという形式をとりましたので、「金賞」、「銀賞」、「銅賞」と順位付けをする結果となりましたが、審査員長(を務めていただいた静岡県地球温暖化防止活動推進センター事務局長の服部乃利子さん)からは、「本来このような活動に順位はつけられない、どれもみな素晴らしい活動であり、さらに活動を展開してほしい」という講評をいただきました。

3 これからの「エコのまち沼津」

平成 23 年度は、市民・事業者・市が一体となり協働して、沼津市の環境の保全に向けた取り組みの指針となる「沼津市環境基本計画」のスタートの年となります。

これからも「エコのまち沼津」を推進するために、「ぬまづエコ活動コンテスト」をきっかけとして、多くの皆様に身近な環境に目を向けていただき、できるところから省エネ・省資源や環境にやさしい「エコ活動」に取り組んでいただきたいと期待しています。

終わりになりましたが、コンテストの開催に当たりまして、沼津商店街連盟をはじめ、多くの企業、関係団体の皆様より多大なご協力をいただきました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

コンテスト出場チーム

- ・沼津市消費者協会
- ・国産電機(株)TQCサークル北斗イレブン
- ・愛の家グループホーム沼津我入道
- ・コミねっと大平
- ・沼津ホテル保護研究会こどもエコクラブ
- ・大平九区エコライフ推進会
- ・浮島地区環境保全推進会子どもクラブ
- ・加藤学園高等学校化学部
- ・塩満エコ運動推進会

会の動き

☆ 平成22年12月15日

【第2回理事会】(1) 役員の改選について

(2) 定時会員総会について

(3) 会員の退会について

☆ 平成23年2月25日

【環境関連施設視察見学会】

視察先 : エコライフスクエア三島きよすみ

☆ 平成23年3月23日

【広報部会】

「水と空」第135号原稿校正について

